

# 九条ブログはらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 49

2008(平成20)年 1月13日(日)発行 だんだん

＜成人の日＞ 元服に起源をもつ「成人の日」は、「満20歳になったことを自覚し、自ら生きぬこう(山正月)とする青年を祝い励ます」ことを趣旨として、終戦直後の1948(昭和23)年に国民の祝日として1月15日に制定されました。8年前の2000年からは1月の第2月曜日(今年は1月14日)になっています。

このニュースは<http://sousou9.web.fc2.com> あるいは「相馬地区九条の会フォーラム」、さらに「はらまち九条の会」を開くと、1号から全号を見ることができます。他の会のニュースもどうぞ!

## 成人 おめでとございます!



▲岩波少年文庫 『星の王子さま』より

- 「一番大切なもの、かんじんなものは、目には見えないんだよ。」サンテクジュペリ『星の王子さま』の中の有名な言葉です。「優しさ」や「思いやり」をはじめ、これは現在の「日本国憲法」にもあてはまります。「憲法」は空気のような目には見えない存在ですが、私たちの知らないところで、日本の平和や、日常のふだんの生活を支えてくれています。
- さあ、成人です!良識ある大人になるために「憲法」を読んでみましょう!
- また、現在の「憲法」草案作成の中心人物は、私たちのふるさと南相馬市小高区出身の憲法学者鈴木安蔵ですが、知っておきたいものです。
- 「憲法はアメリカからの押しつけ」とか、「憲法は60年もたっていて古い」という考えは、鈴木安蔵の功績を知らなかったり、歴史から教訓を学んでいない、戦争を反省していない、不勉強な見方です。

旧小高町生まれの憲法学者鈴木安蔵って知ってますか? 現在の憲法草案の作成者! 全国でも有名な偉人です!



憲法学者 鈴木安蔵 (1904~1983)

鈴木安蔵は1904(明治37)年小高町生まれ。相馬中学校(相馬高校)に入学し弁論部で活躍。第二高等学校(東北大学)でカントの哲学に熱中し、哲学の研究を志して京都帝国大学に進むが、治安維持法違反第1号で逮捕され自主退学します。しかし投獄中に憲法について研究し、日本初の「憲法学」を確立する。

そして1945(昭和20)年の敗戦後、民間レベルの憲法制定のための「憲法研究会」(会長高野岩三郎など7人)が発足し、鈴木安蔵はその中心人物として事務局を担当します。

昭和20年12月26日、天皇の統治権を否定し国民主権の原則を採用、国民の社会権・生存権を規定した「憲法草案要綱」を内閣に届け記者団にも発表します。GHQ(マッカーサーの占領軍)はこの「要綱」に強く注目し、現在の「日本国憲法」の草案のモデルにしました。

その後、静岡大学文理学部教授や立正大学教養部教授を務め、日本の憲法学者の代表的な存在となり、故郷の誇れる偉人です。

○(『文化福島』04年12月号・寺田亮さんの文より)

### ○鈴木安蔵の「憲法草案」と「憲法」の比較

次の通り、そっくりそのままの条文です!

「憲法草案」 「一、天皇ハ国民ノ委任ニヨリ専ラ国家的儀礼ヲ司(つかさど)ル」

「憲法」 「第4条 天皇は、この憲法の定める国事に関する行為のみを行ひ、国政に関する権能を有しない。」

「憲法草案」 「一、国民ハ法律ノ前ニ平等ニシテ出生又ハ身分ニ基ク一切ノ差別ハ之ヲ廃止ス」

「憲法」 「第14条 すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない。」

「憲法草案」 「一、国民ハ健康ニシテ文化的水準ノ生活ヲ営ム権利ヲ有ス」

「憲法」 「第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」

### ○鈴木安蔵が主人公の劇映画・昨年完成「日本の青空」全国で上映中!

小高神社で撮影、相馬高校生も出演しています。機会がありましたら、ぜひご鑑賞ください。

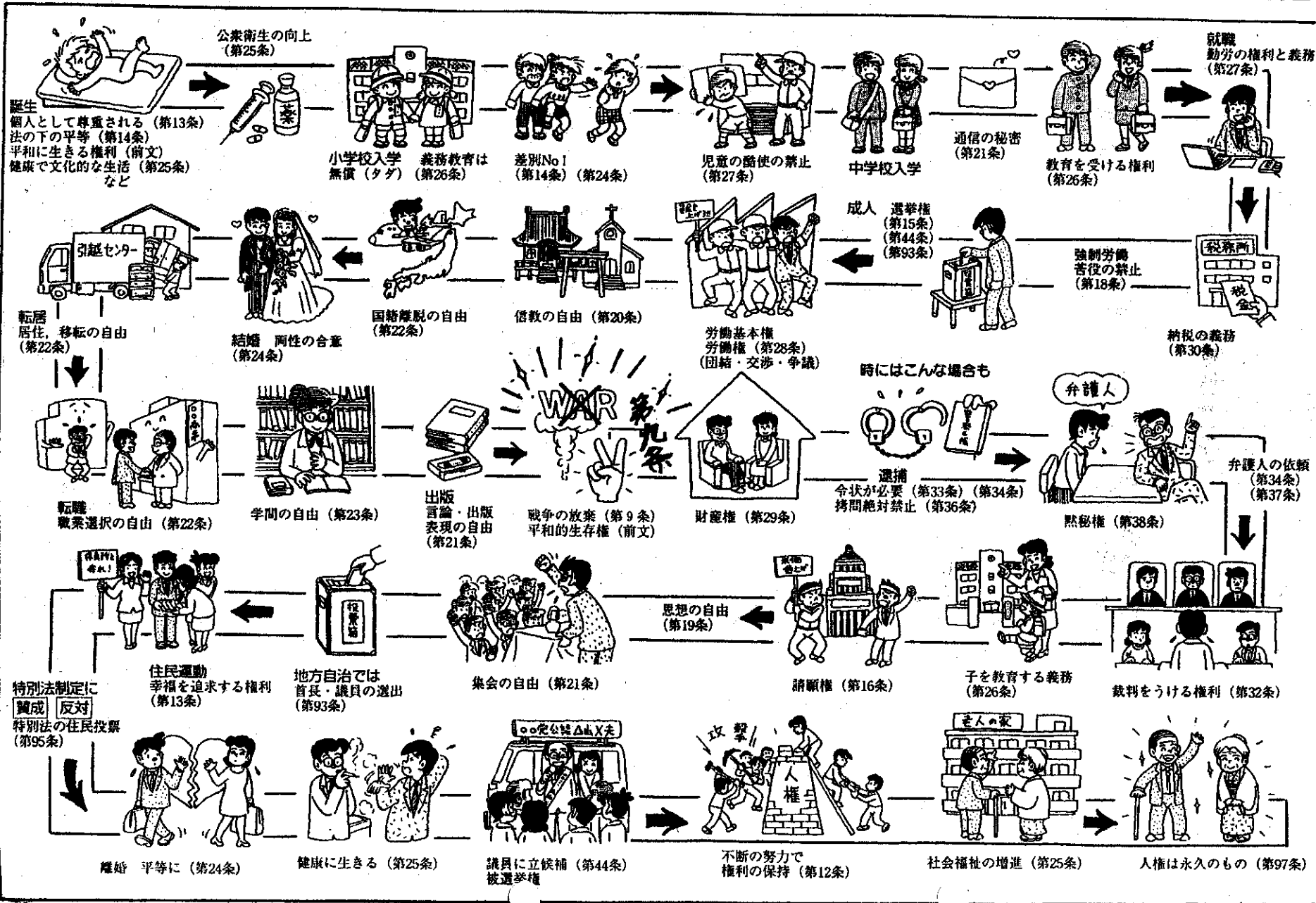
世界の宝・日本国憲法はこうして生まれた



監督 大澤豊・主演 高橋和也

# 生活の中に生きる憲法

◎このイラストのように現在の「憲法」は、私たちの日常生活の中に生き、静かに私たちの暮らしを守り、「戦争をしない国・日本」の平和を支えてくれています。◎37年前に旧原町市は<下写真>の『憲法』小冊子を発行し、市内全12,000戸の家庭に配布しました。◎「古い」とか、安易に「改正」という前に、「日本国憲法」の全103条、21世紀の現在、特に世界から理想とされている「第9条 戦争の放棄」を読み直してみましょう。



▲今日成人の皆さんにプレゼントされた『憲法』は、旧原町市が三十七年前に発行の『憲法』の復刻版。

▲このイラストは一橋出版発行「憲法の解」(五二五円)の「コピー」で、掲載許可済み。大変分かりやすく、お薦めの一冊です。